

令和2年度 事業実施計画書（モデル的事业）

団体名：清見町まちづくり協議会

1. モデル的事业名	地域防災対応促進事業
2. 事業名	清見地区防災対応促進事業
3. 目的	<p>近年、立て続けに甚大な災害に見舞われ、橋の流失、床上浸水、田畑への流入、集落の孤立、避難生活などが発生している。</p> <p>地域の懇談会や市長と語る会などでも、防災環境の整備、住民の防災意識向上、防災の取り組みに向けた体制整備など、地域事情を考慮した防災の取り組みが課題となっているため、防災環境の整備と地域住民の防災意識向上を図る。</p>
4. 事業内容	<p>①防災環境の整備（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全町内会に防災備品として無線機を設置 ・配備した資機材の使用訓練の実施、活用方法の確認 ・訓練結果をもとに、今後、整備が必要な防災資材の検討 ・自主防災組織を中心とした平常時の取り組みの強化 <p>②地域住民の意識向上に向けた取り組み（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清見地区防災計画の作成 ・防災啓発リーフレットの配付や、イベント時の防災啓発コーナーの設置などによる防災知識普及 ・自主防災組織を中心とした、実際の災害を想定した訓練の実施 ・自主防災組織の見直し（5人組等小グループ単位での安否確認や避難誘導・要支援者に対する支援など） ・講演会等実施 ・先進地視察
5. 効果見込	<p>有事の際に対応ができるように体制整備と必要最小限の防災機器等を備えることにより町内住民が安心して避難できるとともに、防災活動に取り組むことができる。</p> <p>自助、共助の取り組みを進めることにより、町内会単位の防災の取り組みから、複数の町内会などが協力し合った地域内全体の防災体制を整えることができる。</p>

令和2年度 事業スケジュール

月 日	項 目	事業内容 (対象・方法等)	摘 要
5月～6月	防災備品の配備	<ul style="list-style-type: none"> 無線機等の防災機器を各町内会へ配備 (H31年度未整備地区) 配備した防災備品の点検及び使用方法の確認 	
5月～6月	地区防災計画の検討	<ul style="list-style-type: none"> 防災対応促進委員会による清見地区防災計画の検討 	
7月～8月	自主防災組織体制の見直し	<ul style="list-style-type: none"> 要支援者等を含めた災害時の安否確認や避難誘導、避難所の運営体制について、町内又は避難所ごとに組織を立ち上げる。 (必要に応じて、町内会ごとに市民防災研究会等により助言を行う) 	
7月～8月	防災訓練の実施	<ul style="list-style-type: none"> 町内会単位で防災訓練を実施 (資機材の使用訓練、無線機の電波範囲の確認など) 避難所ごとに必要な備蓄品を確認 	
9月	防災訓練の反省及び整備が必要な資機材の検討	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練の反省を行うとともに、避難所ごとに必要な資機材を検討し、配備に向けた調整を行う 	
10月	防災意識の普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> 地域イベントでの防災要素の取り入れ (防災啓発コーナーの設置、防災グッズの展示・貸出など) 	
11月	防災講演会の開催	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織の役員を対象とした研修会の開催 	
11月	先進地視察実施	<ul style="list-style-type: none"> 先進地視察を行い、次年度以降の取り組みの参考とする。 	
1月～	新年度の防災意識向上に向けた取り組みと訓練方法の検討	<ul style="list-style-type: none"> 清見地区防災計画の作成。 防災リーフレット作成、全戸配布。 防災に対する課題の把握と来年度に向けた検討 	

令和2年度 清見町まちづくり協議会 収支予算書（モデル的事業）
清見地区防災対応促進事業

【収 入】

単位：円

区 分	予算額	内 訳
市補助金	1,560,000	協働のまちづくり支援金(モデル的事業)
自主財源	30,000	
合 計	1,590,000	

【支 出】

単位：円

事業・科目	予算額	内 訳	
		支援金充当額	
事業費	1,590,000	1,560,000	
報償費	87,000	87,000	講師・アドバイザー謝礼
旅費	30,000	30,000	講師旅費
需用費	505,000	475,000	消耗品費、食糧費、印刷製本費
使用料及び賃借料	100,000	100,000	マイクロバス使用料
備品購入費	868,000	868,000	防災備品（デジタル無線機28台）
合 計	1,590,000	1,560,000	